



活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

平成29年9月			平成29年10月			平成29年11月		
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	金	帯広支部総会	1	日		1	水	巡回監査士試験
2	土		2	月		2	木	巡回監査レベルアップ講座2017
3	日		3	火	“シン”書面添付フォーラム2017	3	金	文化の日
4	月		4	水		4	土	
5	火	租税判例研究会	5	木	巡回監査士<補>研修	5	日	
6	水	正副会長会 年度重要テーマ研修(札幌)/企業防衛正副委員長会議	6	金	巡回監査士<補>研修 企業防衛マスターズ会	6	月	租税判例研究会
7	木	巡回監査士<補>研修	7	土	企業防衛マスターズ会ゴルフ	7	火	北海道銀行との交流会
8	金	巡回監査士<補>研修 資産活用委員会大和部会推進会議、特別研修会	8	日		8	水	巡回監査士補試験
9	土		9	月	体育の日	9	木	広報委員会
10	日		10	火	会員研修(札幌)	10	金	
11	月	苫小牧支部総会	11	水		11	土	
12	火	巡回監査レベルアップ講座2017	12	木	資産対策研究会	12	日	
13	水		13	金	巡回監査レベルアップ講座2017	13	月	北洋銀行との連携強化セミナー
14	木	札幌西支部総会/定期総会/定期大会 各委員会/委員会合同夕食会	14	土		14	火	
15	金	札幌東支部総会 秋季大学(京王プラザホテル札幌)	15	日		15	水	
16	土	秋季大学親睦ゴルフ	16	月	会員研修(帯広) 原点の会	16	木	NMフォーラム2017in大阪
17	日		17	火	原点の会	17	金	NMフォーラム2017in大阪
18	月	敬老の日	18	水		18	土	
19	火	NMフォローセミナー	19	木	巡回監査士<補>研修	19	日	
20	水		20	金	タックスフォーラム2017 巡回監査士<補>研修/広報編集会議	20	月	正副会長会 顧問・相談役・参与会
21	木		21	土		21	火	
22	金		22	日		22	水	
23	土	秋分の日	23	月	正副会長会	23	木	勤労感謝の日
24	日		24	火	NMフォローセミナー	24	金	理事会
25	月		25	水	札幌東支部例会	25	土	
26	火		26	木		26	日	
27	水		27	金	理事会	27	月	
28	木		28	土		28	火	
29	金		29	日		29	水	
30	土		30	月		30	木	
			31	火				

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

かいほう

2017.9.26
第220号



TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル4階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622

発行責任者/田中 裕之 編集責任者/宮下 直樹 印刷所/株式会社メディアブラネット



Chance, Change and Challenge

TKC HOKKAIDO



函館支部 2年連続定期総会全員出席

CONTENTS

- 「税理士業界の未来を考える」の研修を受けて… 02
- 「税理士業界の未来を考える」のお話を聞いて… 03
- 今年も「増田節」全開です！… 04
- 未来を拓く。終わりのなき求道者たれ TKC会計士！… 04
- 第147回TKC全国会システム委員会報告… 06
- 第44回全国役員大会における全国支部長会議に参加して… 07
- 年度重要テーマ研修を受講して… 08
- 【事務所見学会】税理士法人AQUA… 09
- 「新規自計化GO!GO!GO!大作戦」表彰旅行… 10
- 未入会向け会計事務所セミナーin札幌… 11
- 会計事務所 経営戦略セミナー… 13
- リスクマネジメント研修会&情報交換会を開催… 13
- TKCモニタリング情報サービス… 15
- 平成29年書面添付実践件数… 16
- 支部例会・研修会だより… 18
- 会員訪問… 30
- スーパカレーは本懐、そこに萌えんとは、君… 32
- リレーエッセイ「時・空・人」… 34
- 帰ってきた けんたの業務日誌… 35
- 委員長みやしたの取調室… 36
- 新入会員の紹介… 37
- 編集後記… 37
- eひと・eはなし…
- 札幌西支部/中川 雄介… 33

田中裕之新会長の 「税理士業界の未来を考える」の研修を受けて

平成29年7月5日（水）午前10時より、京王プラザホテル札幌にて「税理士業界の未来を考える～TKC北海道会は、どう行動していくべきか」の研修が開催され、全道より74名のTKC会計人が参加しました。

7月1日（土）からTKC北海道会の第8代会長として就任した田中裕之会長は、TKC北海道会の歴代会長の紹介をして、原点に立ち返りました。TKC全国会の結成目的について『TKC会計人の行動基準書』にある「結成目的」を読み上げ、TKCシステムを徹底活用し、租税正義の実現を図るべく昭和46年に結成された当初の設立目的を再確認しました。

次に、税理士業界を取り巻く環境に触れ、歴史的に黒字割合70%の時代から30%の時代の変遷を紹介し、「企業のニーズも節税から経営支援への変化があり、15年間で中小企業が102.8万社減少している」こと、「倒産数より廃業数が多い」ことに触れ、税理士による支援の手が届いていない現状を紹介しました。また、人口統計から「人手不足、労働環境の変化、税理士の受験者数の減少の推移から、今後10年、30年後といった長期的な視点に立ったとき、われわれ税理士業界は未来の明るい業界にすべき」との提言がありました。

そこで、税理士に対する社会の期待を、①企業からの期待、②行政からの期待、③金融機関からの期待、それぞれにおける役割について解説がありました。特に企業からの期待について

は「税の専門家だけでなく、会計の専門家として会計データの分析からどう経営を進めていくべきか助言できる存在であること、企業コンサルタントとしての期待があること」を強調しました。

また、「われわれTKC会計事務所が社会に貢献できているか」と問いかけ、以下の4つの項目を挙げました。

1. 適正な申告業務：書面添付の実践を標準業務とすること
2. 黒字決算支援：経営計画の策定支援であり、継続MASの活用
3. 信頼性のある決算書の作成：中小会計要領の準拠
4. 国の中小企業政策に対する支援：7000PJであり、これから本格始動する早期経営改善計画策定支援の実践

今後の方針として、「TKC全国会の運動方針」の紹介をした後、「TKC北海道会は何を目指しどう行動していくべきか」として、4つの指針を挙げました。

1. 業務品質を向上させる
2. 関与先が価値を認めてくれる仕事をする
3. 行政の取組に積極的に貢献する
4. TKCシステムの徹底活用

最後に、「数字を追うための活動ではなく、税理士業界全体がより社会に認められ、尊敬される職業となるよう力を尽くしましょう!」と熱く語りかけ、研修を締めくくりました。

特に印象に残ったのは、TKCシステムのうち、特に財務システムが普及していないことに触れた際、「遡及訂正ができないという使い勝手や、コストが高いということがあって使わないこともあるようだが、過去の訂正がされた場合のその訂正箇所を探す職員の労力、財務と税務のシステムが統一されていないことによる職員の労力を考えると、経営判断から請求料金は気になるかもしれないが、業務効率の面からも考えてトータルで判断すべきではないか」ということでした。

租税正義の実現のためには、われわれがしっ

かりと適正な申告業務を行う必要があり、その業務遂行を円滑にする環境づくり（TKCシステムの徹底活用）は事務所経営において大事なのではないのでしょうか。

毎月の巡回監査は、事務負担の分散、労力削減の環境づくりにもつながり、遡及訂正禁止によって会計帳簿の正確性がきちんと担保され、税理士法第45条が求める「真正の事実」に基づく業務展開ができる仕組みを実感するとともに、書面添付の実践が大きなカギになることを実感しました。

（札幌東支部 市川 善明）

田中裕之新会長の 「税理士業界の未来を考える」のお話を聞いて

去る7月5日（水）、京王プラザホテル札幌において、TKC北海道会の田中裕之新会長の研修を受けさせていただきました。

TKC北海道会の歴代会長については、私もTKC会員となって、20年を超えますが、きちんと資料をいただいたのは、初めてでした。金坂勲初代会長の就任から今年で45年、開設時の会員数13名から始まり、今年で427名の会員を擁するまでの組織となっています。

その創設時の飯塚毅会長の“TKC全国会の設立目的”を読ませていただきました。本当に勉強不足で、恥ずかしいのですが、今まで、TKCの役員をやったことがないので、初めて「TKC全国会会則（前文）」を読ませていただきました。

「職業会計人の職域防衛と運命打開について
事務所体制と業務水準の向上、収益性の拡大

及び社会的権威の画期的向上をはかり、会計人の孤立化を排して拡張高い血縁的集団の形成を目指し、しかも敢えて会計人全部の無差別的入会を認めることなく、あくまでも高度の職業倫理を堅持し、租税正義の実現を祈念し、自利利他の聖業の実践を願い、国家と社会と働く者
とに対し正しい使命感を抱く会計人のみの参加を求め…」と書かれている文章に触れ、身の引き締まる思いがいたしました。

1973年に決議されたTKC全国会の設立目的が、今も色あせず、私たちに生きる道を示してください。その結成の目的に沿って、6つの事業目的の達成に向けて運動を展開している。これは、全て今まで、どのような環境の変化を迎えても、変わらないものではないかと思いました。税理士という職業に対する社会の期待も大きく、

私たちは、その社会に対して、貢献できているのか。職業としての税理士の役割は、1. 適正な申告業務、2. 黒字決算支援、3. 信頼性のある決算書の作成、4. 国の中小企業政策に対する支援、であり、これらの運動方針に沿って、「中小会計要領」「書面添付」「自計化」がある。その中で、TKC北海道会は、何を目指して、どう行動していくべきか。1. 業務品質を向上させる、2. 関与先が価値を認める仕事をする、3. 行政の

取組に積極的に貢献する、4. TKCシステムの徹底活用、とのお話をいただきました。

私の事務所は創業の時から、TKCシステムのみですが、いまだ25年過ぎても、まだTKCの会計事務所として胸を張って行動できるのか、弱い自分を認めながら、それでも、理念に基づいた事務所経営をやっていききたいと再確認したひとときでした。田中新会長ありがとうございました。

(札幌東支部 寺田 純子)

今年も「増田節」全開です！

7月5日(水)の午後1時から午後4時30分まで、京王プラザホテル札幌にて行われた増田英敏先生の研修会に参加させていただきました。テーマは「税理士の損害賠償責任の範囲と訴訟予防—三つの裁判例を素材に」でした。先生の著書『紛争予防税法』の輪読を通して、税理士および巡回監査担当者が普段から備えるべき「租税法主義を基本に据えたリーガルマインド」について学びました。増田先生の講義を拝聴するのは今回で3回目ですが、表記にあるとおり、今回も増田節全開で、一睡たりともで

きない緊張感のある研修会でした。

増田先生のお話を聞くと、税理士として勇気づけられる部分もある一方で、自分の至らなさを痛感することも多々あり、本当に勉強になると感じる時間でした。やはり、年に一回は増田先生のお話を聞いて、自分を奮い立たせなければと思います。輪読時に難しい漢字がある段落が当たらないように祈りながら、来年も開催されれば必ず参加したいと思っています。よろしくお願いいたします。

(税理士法人加藤会計事務所 小笹 倫幸)

全国役員大会
Chance, Change and Challenge

未来を拓く。終わりにき求道者たれ TKC会計人！

平成29年7月13日(木)、第44回TKC全国役員大会が香川県高松市のサンポート高松にて盛大に開催されました。北海道会からは田中

裕之会長をはじめ副会長、各委員会委員長、支部長など総勢32名の会員が参加されましたが、当日は午後1時からの開催のため飛行機の時間

の関係から多くの会員は高松市に前泊をしてからの大会への参加となりました。私は、昨年東京で開催された全国役員大会から参加させていただいてありますが、やはり全国からTKC全国会の運動の先頭を走っている会員が一同に集まる全国役員大会は圧巻でした。

役員大会式典は、国歌斉唱にはじまり、大会委員長である三好豊四国会会長の開会の辞、物故者への黙祷、坂本孝司全国会会長の主催者代表挨拶、来賓祝辞と進み、続いて丸山定夫全国会副会長から「TKC全国会運動方針の確認」の説明がありました。そこでは、第2ステージ(平成29年1月から平成30年12月末)の運動方針である次の2点の重点運動についてお話しいただきました。

重点運動1 3大テーマに取り組み社会的な役割を全うしよう！

重点運動2 事務所総合力を発揮し、高付加価値体制を構築しよう！

運動方針については、皆さんも色々な場面で触れる機会があると思いますが、運動方針の確認のレジュメの結びに『税理士業界全体がより社会に認められ尊敬される職業になるよう力を尽くしましょう！』と記載されており、身が引き締まる思いがしました。また、第2ステージ「事務所総合表彰」の表彰旅行の行き先が平成31年6月にシンガポールとなることも発表されています。これもひとつの目標として頑張りたいですね。

運動方針の確認に続いては、株式会社TKC角一幸社長よりTKCからのご報告をいただきました。そこでは早期経営改善計画策定支援、TKCモニタリング情報サービスなどについての説明がありました。

その後、飯塚真玄名誉会長がご登壇され、平

成30年7月にTKC全国会飯塚毅初代会長生誕100周年を迎えることを記念し、TKC全国会会員に対する株式無償譲渡についてのご説明がありました。これは飯塚真玄名誉会長が個人で所有されている株式会社TKCの株式を100万株を上限として会員に無償譲渡するというものです。平成18年3月に行われた無償譲渡により株式を取得された会員は除くということでしたが、1人当たり200株を上限とし税理士法第33条の2の書面添付実践事務所を対象に平成30年3月から平成34年3月の5年間に渡って実施されるということです。飯塚真玄名誉会長のわれわれに対する想いが伝わる内容でした。詳細については株式会社TKCのホームページでも記載されておりますのでぜひご確認ください。

次に、藤井俊彰北陸会会長より次回の全国役員大会の開催地が金沢市となる旨のご紹介があり、最後に秋山嘉之実行委員長による閉会の辞のごあいさつがありました。

全国役員大会の終了後には、引き続き、「中小企業金融における会計と税理士の新たな役割」と題した坂本孝司全国会会長によるご講演、レセプションと続き、翌日には、第44回TKC全国役員大会全体研修会が行われ、金融庁参与神戸大学経済経営研究所副所長家森信



善教授による「地域金融機関の役割と税理士との協働への期待」と題した基調講演、そして、加藤恵一郎TKC全国会戦略特別委員長がコーディネーターを務められた「未来を拓く 税理士の新たな使命（ミッション）」というパネルディスカッションが行われました。

全国役員大会の様子はProFITのTKC全国会重要テーマの中で動画配信されていますので、ぜひ、みなさんご確認ください。

(広報委員会 委員長 宮下 直樹)



全国役員大会 第147回TKC全国会システム委員会報告

平成29年7月14日（金）・15日（土）の2日間、第147回TKC全国会システム委員会にオブザーバとして参加してまいりました。システム委員会で審議した事項は多岐にわたりますが、会議内容の一部をご紹介します。

1. タブレットPOSレジからの売上データ受信

最近タブレットのレジが美容室や飲食店等で使われている光景を見かけます。そのタブレット型レジの最大手Airレジをはじめ、ユビレジ、スマレジから売上データをFX2に受信して仕訳計上できる機能が11月版で新設される予定です。

2. 部門別予算策定システム（仮称）の新規開発

継続MASシステムとは別のシステムが開発されました。このシステムを利用することで次のような利用が想定されます。

- ① 社長がトップダウン予算策定
- ② 部門長がボトムアップ予算策定
- ③ 社長、部門長のすり合わせ
- ④ 予算確定

②の場面についてはweb入力またはエクセル入力が可能なので、工夫によっては会計事務所作成のたたき台予算を社長に校正してもらう使い方ができるかもしれません。また継続MAS予算との連携もできるようになっていますので、今まで通り、継続MASシステムで業績検討会を実施して関与先を指導することができます。本システムは11月から利用できる予定です。

3. OMSチャット

LINE、チャットワーク、Slackを参考に開発中だそうです。提供予定は平成30年4月とのこと。システム開発研究所の担当者と話をする機会がありました。現状は所長と職員さんのコミュニケーションツールという前提で開発しているとのことだったので私から1点要望をあげました。われわれの実務では資料回収がスムーズにできないと作業にとりかかれません。不足資料があればFAX、メール、郵送などの方法で資料依頼をするのが現状です。ここにチャットという

方法を追加してほしい、と言いました。関与先はスマホを持っている方は多いです。スマホがあれば写真が撮れます。関与先はFAXや郵送で会計事務所に資料を出すよりも、写真+チャットで送信するほうが負担は少ないと思います。また事務所としても資料回収のスピードも早くなると思っています。

ということで、OMSチャットを事務所の生産性向上に寄与できるよう開発担当者に要望しておきました。実現のハードルは高いと思いますが、もし実現されれば嬉しいですね。

4. ホストシステム伝送時間の拡大

仕訳データの送信、TPS1000での残高受信ですが、現在は日曜日・祝日・深夜早朝はデータ受付が休止されています。これが10月以降は24

時間受付ができるようになります。日曜日・祝日・深夜早朝に仕事をされている多忙な方々には朗報です。

5. 最後に

シス研TVニュースはご覧になっておりますか？ProFITのトップページから視聴できます。上記のようなシステム改定の概要を5分で把握できます。弊事務所税理士法人エンカレッジでも毎月の全体会議では、全員一緒にシス研TVニュースを見て最新システムを把握するようにしています。ぜひ、皆さまの事務所で実施される朝礼や研修会または、勉強会でシス研TVニュースをご覧いただければと思います。

(北海道会 システム委員会
副委員長 吉田 幸広)

全国役員大会 第44回全国役員大会における全国支部長会議に参加して

7月14日（金）の午後、第8回TKC全国支部長会議が開催されました。本会議の中で平成29年度支部統一目標として「支部例会等参加率50%を目指す（チャレンジ目標！50）」が決議されました。それを受け、全国から参加した134支部の支部長が支部の規模別、かつ、都会または広域別にグルーピングされ、10名程のグループでディスカッションを行いました。

テーマは「支部例会参加率50%超を目指して」です。

私が参加したのは広域の支部で会員数50名以下の小規模グループでした。それぞれ支部の

実情等について報告があり、意見交換等が行われました。普段、他支部の実情を直に聞くことがないため大変参考になりました。各支部とも支部運営には苦勞されており、とりわけ支部例会等の出席率を上げるのに腐心する様子には共感を覚えるものがありました。

特に、印象深かった点は、以下の通りです。

- ①支部会費は0～3千円／月とばらつきがあり、中には商品券を換金して運営費に充てているというところもある。
- ②支部例会開催に当たり事前に役員会を開催していないところがある。

③ニューメンバーズの入会に当たり支部長面談を行っている支部が意外と少なかった。
なお、このグループディカッションに先立ち行われた表彰式で、函館支部は平成28年8月の定期総会で支部会員参加率100%を達成したとし

て特別賞を受賞したのは光栄でした。これも支部会員の協力と先達会員の努力のたまものと思って感謝しています。

(函館支部 細川 拡厚)

連携して中小企業のご支援をするTKCモニタリング情報サービスが始まります。時代は、事業性評価への転換に進んでいます。TKC会計人には巡回監査を前提とした、「記帳適時性証明書」、「書面添付」、「中小会計要領チェックリス

ト」という武器があります。

当たり前のことを徹底して行い、当たり前でない結果を出す。今回の研修を糧に、中小企業の皆様へフィードバックして行こうと思います。

(札幌東支部 高野 真人)

年度重要テーマ研修を受講して

7月26日(水)、本年の年度重要テーマ研修「中小企業金融における会計と税理士の新たな役割」を受講しました。6名の講師の先生により、TKC全国会の運動方針、中小企業の環境変化、中小会計要領や書面添付、金融機関の取組み、TKC経営支援セミナー、TKCシステムの紹介などのお話があり盛沢山の内容となりました。

私たちが通常行う税務、会計、経営助言などの業務は、巡回監査を通じて作成されたデータが必要であり、そのためには、①「中小会計要領に準拠した信頼性の高い決算書」の作成、②「書面添付」の推進、③「自計化」の推進が重要であることを再認識しました。

とりわけ、書面添付についてTKC会計人の行動基準書1-4-2は、考えを改めさせられました。

【TKC会計人の行動基準書】

1-4-2 会員は、「巡回監査」の誠実な実施により税理士の責任を果たしたことを書面添付制度によって明示し、税理士に対する社会の期待と信頼に応えなければならない。

いまさら、振り返るとは基本がなっていないと言われても仕方がないでしょう。自分は、中小企業の皆様のために日々、巡回監査、経営助言に勤しんで来たのではなかったのか。そう思っていただけなのか、そんなはずはない…。「税理士の責任を果たした」ことを「書面添付制度によって明示」する。そんなシンプルな言葉の背景に税理士としての社会的使命のひとつを改めて感じとりました。

これから、新たなる取組みとして金融機関と



【事務所見学会】税理士法人AQUA

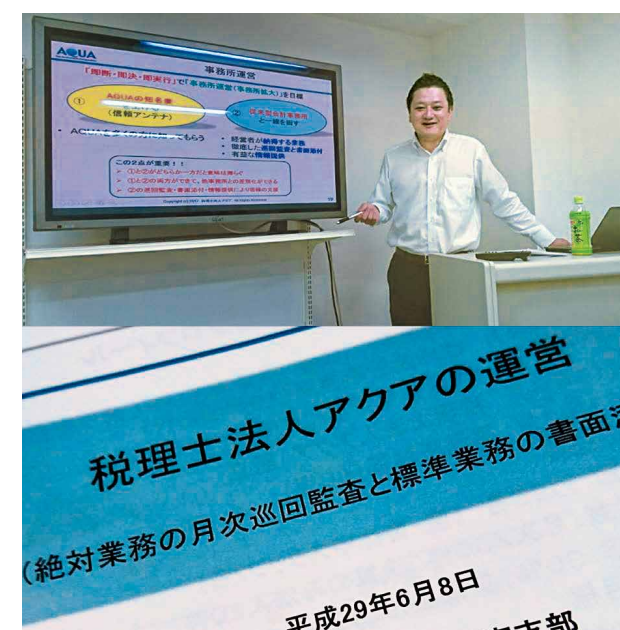
平成29年6月8日(木)、宮下直樹税理士事務所と南昇税理士事務所、河村聡子税理士事務所合同で、東京都心会新宿支部の税理士法人AQUAの事務所を見学させていただきました。その日の東京は25℃と、北海道から行った私たちからすると暑い日でしたが、事務所の応接室に入るとまず冷たいおしぼりを出してください、細やかな心遣いを感じました。

税理士法人AQUAは、副島正雄所長をはじめ正社員17名、パート9名、合計26名の事務所です。現在、会計事務所を取り巻く環境は年々厳しくなっておりますが、税理士法人AQUAでは、顧問契約解除理由を分析することで関与先の立場を理解し、継続MASを含めた月次巡回監査を絶対業務とした未来会計を実施することで成長を続けております。また、事務所運営では、「即断・即決・即実行」で、知名度を上げることとサービス面(巡回監査、書面添付、情報提供など)で他事務所と一線を画すことを両立することで事務所拡大を実現しております。特に巡回監査などの業務品質を常に向上させ、スタッフ教育を重視することで「お客様を守ること」を実現し、「お客様の成長なくして、自分の成功な

し」という自利利他の精神で、関与先の立場にたった経営をされております。

時代の変化に瞬時に対応し、細やかな心遣いを忘れない副島会員の姿勢に大変感銘を受けました。副島会員が心がけているように、今回学んだことを即実行で事務所経営に取り入れていきたいと思いました。

(札幌西支部 河村 聡子)



「新規自計化 GO! GO! GO! 大作戦」 表彰旅行

平成28年度のTKC北海道会における事務所総合力強化にむけた「新規自計化GO! GO! GO! 大作戦」に当事務所がぎりぎり5位入賞を果たすことができ、平成29年6月8日（木）から10日（土）まで表彰旅行兼事務所研修旅行に3事務所合同で東京および栃木に行ってきました。

表彰旅行の招待人数は1名でしたが、南昇税理士事務所が創業して27年で初めて入賞できたので、事務所研修旅行を兼ねて皆で行きたいと所長に懇願した結果、快くOKを出してくれました。世代交代の時期なので所長を除く次世代メンバーで行っておいでと、所長はお留守番でした。

1日目は東京でスカイツリーなど見学をしたあと、「税理士法人AQUA」様を見学させていただきました。詳しくは、河村聡子会員からの寄稿を参照してください。2日目は表彰旅行のメインであるTKCデータセンター（TISC）と飯塚記念館の見学でした。

TISCの事前情報は前々から聞いていたので

すが、セキュリティの厳しさにあらためて驚きました。入ってすぐ、同意書のようなものに署名し、見学には携帯電話の持ち込みも禁止でした。サーバー室へのいくつかの扉を開くには館長さんの複数の手段の認証が必要で、一つの扉が閉じるまで次の扉は開かないなど映画の世界の样でした。サーバー室は、セキュリティだけでなく温度管理も考え設計されていて、火災の対策設備などもしっかりされていました。また、TISCは免震構造になっていて地下の免震構造部分を見学させていただきました。うわさに聞いていた浮いているという話、本当でした！浮いてました！東日本大震災の時にはこの免震構造のおかげでサーバーが倒れることもなかったということです。このTISCのしっかりした防災設備とセキュリティ設備を目の当たりにして、お客様に安心してTKCのシステムを使っていただけると改めて感じました。

TISC見学会の後は、飯塚毅記念館に移動して、TKCの創業者である飯塚毅名誉会長の生誕から逝去までの歴史を知ることができまし



た。どんな思いで飯塚事件を乗り越えたのか、どんな思いでTKCを創業したのか。また、税理士という仕事にどんな使命を感じていたのか。聞いていると本当に素晴らしいお方だったのだなと感銘を受けました。私は、飯塚毅名誉会長のように頭は良くないですが、父から事務所の理念をしっかり受け継ぎ、自分自身の想いも加えつつ、関与先により良いサービスを提供していこうと心に誓いました。

TKCの見学が終わった後は、鬼怒川温泉へ。三事務所合同で夜は大宴会をしました。当事務所の職員さんたちは、なかなか他事務所との交流

が今までなかったもので、とても良い機会となりました。他事務所の職員さんたちと交流することによって、それぞれの事務所の特徴や良いところ、課題などが見え、とても参考になったようです。

3日目の参加者全員による日光東照宮見学をもって、この旅行の全日程を終了しました。

事務所のメンバーでの観光も今回が初めてだったので、リラックスしながら交流でき、今まで知らなかった一面なども垣間見られ、とても楽しい表彰旅行となりました。このような機会をいただき、ありがとうございました!!

(札幌東支部 南 優香)



未入会向け会計事務所セミナーin札幌

8月4日（金）、午後3時よりホテルモントレエーデルホフ札幌にて、未入会会計事務所向けセミナーが開催されました。今回は講師をTKC会員でもあり北海道税理士会の筆頭副会長で

もある平田清悦会員にお願いし、セミナーには9名、懇親会には5名の参加をいただきました。

セミナーでは、職員の管理体制を故飯塚毅会

長の管理文書を利用し、徹底した巡回監査体制＝月次決算をすることにより、関与先から喜ばれるだけでなく、税理士法の使用責任の問題も回避できる旨を話していただきました。参加された方はかなり賛同していたようです。

また支援されていたNMS委員やTKC会員につきましても、かなり参考になったようです。また、事務所は、お父様の時代からで、昭和46年に開業され47年にはTKCに入会されて、北海道会では、9番目の早さの入会だそうです。お恥ずかしいですが、今回のセミナーで、バリバリのTKC事務所だとはじめて知りました。税理士会ではその様なTKCオーラを出されていないので…(笑)。

懇親会では、参加された全員に一言をいただ

いた際にも、入会宣言に近い？お言葉もいただきました。二次会にも3名参加していただき、TKCを知っていただく良い機会になりました。

このセミナー開催につきまして、ご紹介、動向、当日の支援等、田中裕之会長をはじめ、多くのTKC会員のお力添えいただきましたことを、この場を借りて感謝いたします。誠にありがとうございます。

(NMS委員会 委員長 砂野 隆英)



会計事務所 経営戦略セミナー

8月1日(火)、旭川グランドホテルにおいて、未入会の税理士にもご参加いただき、会計事務所経営戦略セミナー第2弾が「関与先が待望するサービスのつくり方～既存顧客の満足が新規顧客獲得につながる～」と題して開催されました。

ニューメンバーズサービス委員会砂野隆英委員長のあいさつで始まり、次に北海道経営改善支援センター北嶋賢一センター長が、「早期経営改善計画策定支援事業の概要と税理士への

期待」についてお話しされました。続いて書面添付推進委員会中川一俊委員長から、①IT時代における自計化を前提とした“巡回監査”、②今、なぜTKC方式の自計化推進か、③書面添付推進に向けた取り組み、④TKCモニタリング情報サービス、について情報提供があり、今後の事務所経営に向け情報をいただける有意義なセミナー受講となりました。

セミナー終了後は、講師の会員にもご出席いただき、和やかに懇親会が開催されました。

(旭川支部 舟橋 馨)



リスクマネジメント研修会&情報交換会を開催

リスクマネジメントの普及・定着により企業価値の向上を

去る6月22日(木)札幌、23日(金)帯広においてリスクマネジメント研修会&情報交換会を開催いたしました。

当日は、日本でのリスクマネジメント指導第一

人者のひとりである、NPO法人リスクマネジメント推進支援機構リスク・エイド副代表理事であります伊集院剛史氏からリスクマネジメント指導の必要性、リスクマネジメント指導の具体的

取組について詳細にお話を伺うことができました。

これからのリスクマネジメントは単なる「保険の付保」だけでは間に合わなくなっているとのことで、具体的に「どんな事態が想定されるのか」「そのとき、どう動くのか」を考え、行動するための体制を構築し、その内容を取引先にアピールする。そして、それが取引先に評価されて企業価値の向上がもたらされるといえるような時代にすぐそこまで来ているとのこと。

これらのリスクマネジメント指導は、毎月巡回監査を行っているTKC会計人だからこそできる経営助言のひとつであり、またそれをお客様からも非常に期待されている存在でもあります。リスクマネジメントで企業価値向上を実現するビジネスドクターとして、先駆的活動を果たすことが我々に課せられた使命です。

9月からリスクマネジメントキャンペーンも始まりますのでぜひ一緒にリスクマネジメント活動を。日本の中小企業を元気にするために！

尚、11月2日（木）午後2時からリスク・エイド副代表理事の伊集院様をお呼びして、より実践的なリスクマネジメント研修会を札幌で開催する予定です。皆様奮ってご参加ください。よろしくお願いいたします。

（リスクマネジメント制度推進委員会
委員長 砂原 政広）



TKC会員・職員専用団体保険の募集が9月20日から始まります （旧TKCリスクマネジメント団体保険制度）

TKC会員・職員専用団体保険は、TKC会員・職員そしてその家族専用の団体保険で、現在約1万人の皆様にご加入いただいている団体保険です。最大43.75%の保険料割引を適用することができますので非常に有利な保険です。

昨年までは確定申告明けに募集をしておりましたが、今年から9月20日からの募集に変更になっております。また、補償もアップ（がん補償プラン、介護プラン、傷害総合保険・天災危険補償）されておりさらに魅力がアップしました。

ぜひこの機会にご加入を検討されてみてはいかがでしょうか。詳しい申込方法等は今後TKC全国会からご案内がありますので楽しみにお待ちください。

TKC FinTech TKCモニタリング情報サービス



本年提供開始となりました「モニタリング情報サービス」について、TKC北海道会では、現在52名の会員が利用を開始しています。道内12の金融機関にて受付を行っており、各金融機関において当サービスの理解が深まりつつあります。北海道会会員の皆様におかれましては、当サービスのさらなる利用拡大にお取り組みくださいますようお願いいたします。

TKCモニタリング情報サービス実践事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川 善明
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義
3	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美
4	札幌東	札幌市北区	梶原宏税理士事務所	梶原 宏
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎
6	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
7	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
8	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
9	札幌東	札幌市北区	佐々木忠則税理士事務所	佐々木忠則
10	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
11	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純
12	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	塚田 修治
13	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
14	札幌東	札幌市北区	税理士法人NS会計中川・佐々木事務所	中川 一俊
15	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男
16	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
17	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
18	札幌東	札幌市豊平区	南昇税理士事務所	南 昇
19	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
20	札幌東	札幌市東区	税理士法人空の色	山口和佳子
21	札幌東	札幌市清田区	横山知明税理士事務所	横山 知明
22	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀
23	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
24	札幌西	札幌市中央区	あすか税理士法人	川股 修二
25	札幌西	札幌市中央区	税理士法人小中会計	小中 昌幸
26	札幌西	札幌市中央区	砂野隆英税理士事務所	砂野 隆英

No	支部	所在地	事務所名	会員名
27	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
28	札幌西	札幌市中央区	はちもち会計事務所	八森 恵一
29	札幌西	札幌市中央区	三上勝美税理士事務所	三上 勝美
30	札幌西	札幌市中央区	森下税務会計事務所	森下 敏美
31	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん会計事務所	山谷 謙太
32	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
33	函館	函館市	北川勝弘税理士事務所	北川 勝弘
34	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
35	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
36	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
37	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
38	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
39	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉宣
40	稚内	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
41	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章
42	旭川	深川市	小島拓也税理士事務所	小島 拓也
43	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
44	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
45	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
46	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
47	帯広	本別町	砂原会計事務所	砂原 政弘
48	帯広	帯広市	谷本倍規税理士事務所	谷本 倍規
49	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
50	帯広	帯広市	干場慎也税理士事務所	干場 慎也
51	釧路	釧路市	甲賀伸彦税理士事務所	甲賀 伸彦
52	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦

平成29年 書面添付実践件数 (平成29年7月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 29 年実績		
			1~6月	7月	合計
1	札幌東支部	五十嵐 勝 義	63	11	74
2		市 川 善 明	26	3	29
3		井 上 晋 一			0
4		岩 本 敏 美	12	2	14
5		大 林 愼 一	1		1
6		小田川 繁	7	2	9
7		梶 原 宏			0
8		加 藤 恵一郎	159	6	165
9		金 子 雅 行	4	1	5
10		金 坂 和 正	10		10
11		川 股 修 二	61	8	69
12		小 平 康 夫	26	2	28
13		斎 藤 雅 昭	8		8
14		坂 本 文 彦	5		5
15		佐々木 忠 則	130	9	139
16		佐々木 俊 幸	2	1	3
17		佐々木 幸 徳	39	9	48
18		佐 藤 俊 一	7	1	8
19		佐 藤 伸 泰	54	5	59
20		下 坂 登	6		6
21		清 宮 純	55	3	58
22		田 中 愼 也			0
23		千 葉 寛 樹	79	5	84
24		塚 田 修 治	47	2	49
25		出 口 秀 樹	37	5	42
26		寺 田 勉	56	1	57
27		中 川 一 俊	38	3	41
28		中 川 信 喜	32	4	36
29		名 越 隆 雄	1		1
30		原 幸四郎	50	4	54
31		藤 崎 登喜雄	8		8
32		藤 田 時 人	56	5	61
33		藤 本 康 男	8	1	9
34		本 間 貴 久	65	4	69
35		本 間 崇	1	1	2
36		南 昇	10		10
37		宮 下 直 樹	21	5	26
38		森 下 浩	16		16
39		八 島 依 子	7		7
40		山 美 幹 生	28	1	29

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 29 年実績		
			1~6月	7月	合計
41	札幌東支部	横 山 知 明			0
42		吉 川 直 宏	4		4
43		米 澤 篤 志	5		5
44	札幌西支部	阿 部 真 澄	16	7	23
45		池 脇 昭 二	65	4	69
46		國 分 敬 祐	2		2
47		伊 東 幹 世			0
48		上 原 貢	11	1	12
49		遠 藤 成 紀	81	13	94
50		大 沼 宏	6		6
51		岡 崎 克 明			0
52		岡 崎 正 毅	8	1	9
53		岡 村 圭 介			0
54		小 川 裕 也	10		10
55		川 端 忠 範	10		10
56		桑 畑 典 義	7	3	10
57		小 中 昌 幸	21	4	25
58		近 藤 勝 美	1	1	2
59		杉 村 弘 幸	5		5
60		鈴 江 誠	25	1	26
61		砂 野 隆 英	12		12
62		高 野 一 夫			0
63		竹 中 正 美	21	3	24
64		田 中 裕 之	74	6	80
65		藤 堂 愛 子	3		3
66		西野尾 嘉 拓			0
67		八 森 恵 一	1		1
68		平 田 清 悦	24	1	25
69		堀 内 鶴次郎	19	3	22
70		三 上 勝 美			0
71		宮 崎 知 行	10	1	11
72		村 西 逸 郎	1	1	2
73		茂 木 賢 治			0
74		森 下 敏 美	9	3	12
75		山 崎 瑞 枝			0
76		山 田 めぐみ	8		8
77		山 谷 謙 太	49	9	58
78	小樽支部	足 立 竹 秀	5		5
79		澤 田 忠 宏	28	4	32
80		西 正 則	3	1	4

平成29年 書面添付実践件数 (平成29年7月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 29 年実績		
			1~6月	7月	合計
81	函館支部	奥 山 昌 弘	12	1	13
82		鎌 田 直 善	22	4	26
83		北 川 勝 弘	18	4	22
84		後 閑 慶 子	3	1	4
85		千 田 浩 文	4	1	5
86		蛭子井 眞 市	11	1	12
87		西 谷 裕 幸	1	2	3
88		細 川 拡 厚	21		21
89	空知支部	松 山 高 治	16	1	17
90		大 林 強			0
91		木 村 聡	33	3	36
92		斎 藤 恵美子	32	5	37
93		坂 本 和 繁	60	10	70
94		谷 勲	20	2	22
95		鳴 海 敏 郎			0
96		久 井 恵			0
97	旭川支部	八 幡 吉 宣	18	2	20
98		青 柳 順 也	4		4
99		薄 井 博	8	1	9
100		尾 田 利 雄	33	8	41
101		加 藤 一 博			0
102		金 谷 博 光	64	3	67
103		熊 谷 益 夫			0
104		小 島 拓 也	1		1
105	稚内支部	坂 本 英 志			0
106		佐 藤 弘 道	2		2
107		高 橋 愼 吾	29	3	32
108		舟 橋 馨	2	2	4
109		渡 辺 祐 吉	42	3	45
110		蝦 名 朗 太	2		2
111		田 村 栄 章	6		6
112		松 井 静 夫	10	1	11
113	北見支部	伊 東 隆 志			0
114		井 山 等	12		12
115		菅 原 雅 之	3		3
116		中 島 茂 幸	2		2
117		南 都 正 弘	1		1
118	帯広支部	渡 邊 直 喜	1		1
119		井 上 理	10		10
120		河 合 敏	83	9	92

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 29 年実績		
			1~6月	7月	合計
121	帯広支部	梅 田 勇	63	7	70
122		白 岩 征 之	64	6	70
123		砂 原 政 広	36	1	37
124		谷 本 倍 規	85	4	89
125		竹 川 博 之	38	4	42
126		東 城 敬 貴	23	3	26
127		中 井 宏	53	4	57
128		干 場 愼 也	4		4
129	釧路支部	松 田 孝 志	5	1	6
130		甲 賀 伸 彦	83	7	90
131		高 津 直 人			0
132		近 藤 康 範	20	1	21
133	苫小牧支部	鈴 木 圭 介	21		21
134		猪 股 冬 樹	8	1	9
135		駒 井 桂 伺	24	1	25
136		佐 藤 俊 生	9	1	10
137		柴 山 徳 雄			0
138		鈴 木 啓 一	1	1	2
139		多 田 伸 一			0
140		田 村 耕 一	25		25
141		湯 谷 和 彦	53	4	57
142		小 林 史 郎			0

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。
※掲載は、随時TKC北海道会事務局にて受け付けています。
※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。
※実績は法人・個人合算しています。

書面添付推進委員会からのお知らせ

現在、書面添付推進委員会では平成29年「シン」書面添付フォーラム2017」開催に向けて準備を進めております。
開 催 日：平成29年10月3日（火）
開催場所：ニューオータニイン札幌





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, OBIHIRO, KUSHIRO, SORACHI, OTARU, ASAHIKAWA, HAKODATE



すごいぞ函館支部例会！

6月19日（月）に行われた函館支部例会に札幌西支部研修旅行の行程中で参加させていただきました。

函館支部は、100%参加の定期総会を達成したということで、例会参加率の低い札幌西支部としては以前からオブザーバーで参加する機会を細川拡厚支部長にお願いしておりました。今回の例会も会員17人中16人が参加しておりました。出席率がいいので、当然会員間の顔が見えているということで、議題に対しての積極的な発言が見られました。

また、最後に出席した会員全員からの近況報

告がありました。この辺りが会員間の距離を縮めているのかなと感じました。

その後懇親会、二次会をご用意いただき、交流を深めました。

（札幌西支部 山谷 謙太）



【訪問報告】近田会計事務所訪問レポート

6月19日（月）青森県八戸市の近田会計事務所に訪問し、事務所内の見学をさせていただきました。TKC会報等で公表されている近田会計事務所の事務所概要は次の通りです。

- ・FX2シリーズ利用件数：全国第2位（平成28年1月～12月）
- ・FX2導入件数：364件
- ・関与先企業数：501件
- ・書面添付実践件数：433件
- ・7000プロジェクト第1ステージ実践件数：72件（全国1位）

- ・小規模企業共済：8年連続全国1位
- ・倒産防止共済：全国1位

なぜこれほど実績を出せるのか。光栄にも近田雄一先生ご本人から事務所のご説明を聞くことができました。

1. 訪問時のお出迎え

訪問したわれわれ全員のフルネームが記載されたスリッパが用意されておりました。さらに事務所説明を受ける際にご案内いただいた研修室には氏名、お菓子、名前付きストローが用意されていました。ここまでおもてなしを受け、歓迎さ

れたことは初めてだったので大変感激しました。その後、職員さんから事務所内部をご案内いただきました。事務所内部は2階がない平屋で、職員さんは広々としたワンフロアにて業務をされていました。

2. 朝礼

毎朝8時30分から9時の朝礼にて社是、社訓、経営理念を唱和し最後に近田会員が話をします。「この朝礼こそが近田会計事務所の強さの源泉だ。」とのことでした。

3. 職員の育成

組織体制は監査1課から6課までです。各課長は担当を持たず、巡回監査をしていないそうです。課長のメイン業務は部下の育成、教育とのです。新人教育は課長に限らず、近田会員自身も全力で取り組んでおられます。事務所訪問した当日も「このあと新人研修をする」とおっしゃっていました。

4. 新人の育成

大学卒業したての新人職員は所内研修にとどまらず、旅費研修費がかかる県外の外部研修にも参加させているとのこと。また、新人職員にはあえて新しい業務をチャレンジさせているようです。理由はベテラン職員と違い比較的時間があること、また先入観を持たず業務に取り組んでくれるためのようです。最近の例だとTKCシステムのFinTechサービス（銀行信販データ受信機能）を新人職員に勉強してもらい、関与先への導入支援をしてもらっているとのことでした。過去にも「経営革新計画の承認手続」や「電子申告の取り組み」は新人職員に任せて上手くいったそうです。

その一方、職員さんの健康にも気を配ってありました。具体的な施策として万歩計を全員に支給しており、1万歩歩けば一日300円を支給しているそうです。職員さんも「健康のためにたくさん歩いている。」とのことでした。

【最後に】

八戸市は人口約23万人、事業所数は約1万2千件です。この町でこれほどの実績を出す事務所経営をされているのは、近田会員の強いリーダーシップの下で、事務所一丸となって付加価値の高い業務を実行しているからだと感じました。

お忙しい中、事務所見学を開催していただいたことは、まさにTKCの血縁的集団という仲間意識のたまものだと思います。今後も近田会計事務所の益々のご活躍を祈念しております。

（札幌西支部 吉田 幸広）





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, OBIHIRO, KUSHIRO, SORACHI, OTARU, ASAHIKAWA, HAKODATE



事務所経営事例公開セミナーを開催

6月26日（月）、インザスイートにおいて会員16名の参加による支部例会が開催されました。例会では、新たに開始された早期経営改善計画策定支援をはじめとする重点報告、各委員会報告が行われました。

例会後には、TKC東北会宮城県支部より青木正会員を講師にお招きし「我が事務所の経営戦略」と題してセミナーが開催されました。セミナーでは、会員のみならず各事務所職員も参加し、事務所の仕組み作りから職員教育、関与先拡大手法などさまざまな事務所経営ノウハウを実際のデータを公開いただきながら共有しました。

セミナー後、懇親会の質問コーナーでもさら

に踏み込んだ質問が出るなど、大変盛り上がったセミナーとなりました。

（帯広支部 関 有紀子）



「支部研修旅行in沖縄」開催報告

6月30日（金）から7月2日（日）に釧路支部で初めてとなる「支部研修旅行」が沖縄にて開

催されました。「親睦」をテーマに、鈴木圭介支部長、北山幸徳会員、甲賀伸彦会員、伊藤文彦



会員、大同生命永見優弥課長、TKC中原洋一センター長の6人で沖縄に向かいました。

初日は、TKC沖縄支部の糸満税理士事務所見学会が開催されました。糸満克哉会員による事務所経営に関する事例紹介や事務所内見学をさせていただきました。沖縄でもTKC会員の頑張りを感ずることができました。2日目は、観光で沖縄本島東部の島々を巡り、勝連城趾など

の世界遺産散策などを行いました。最終日は、牧志公設市場にてお土産を買い帰路へとつきました。

来年も6月頃に開催を予定していますので、釧路支部の会員の皆様におかれましては、ぜひともご参加ください。

（釧路支部 鈴木 圭介）



事務所総合力を発揮し、高付加価値体勢を構築しよう！ ～14会員中13会員出席、支部定期総会終了～

TKC空知支部は、去る7月18日（火）午後3時から滝川市ホテルスエヒロにおいて平成29年度の定期総会を開催しました。TKC北海道会からは田中裕之新会長にお出でいただき、TKC北海北海道会の現況とTKC全国会を取り巻く現下の情勢、さらには7月13日（木）に開催された全国会役員大会の様態などをお話いただきました。

また、大同生命から中川稔支社長、鈴木基弘課長、古山健太郎課長、大西翔課長に、そして旭川センターからは太田洋亮センター長、小竹要様にご出席いただきました。ありがとうございました。

ました。

なお、総会出席者は、会員14名中13名と高出席率（92.9%）を記録し、懇談会には、地元金融機関の幹部の皆様にもお出でいただきました。

【総会概要】

①3大テーマに取り組み社会的な役割を全うすることを確認しました。

テーマ1「中小会計要領」に準拠した信頼性の高い決算書の作成

テーマ2「書面添付」の推進

テーマ3「自計化」の推進

中小企業の存続・発展支援





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, OBIHIRO, KUSHIRO, SORACHI, OTARU, ASAHIKAWA, HAKODATE



- ②事務所総合力を発揮し、高付加価値体制を構築すること確認しました。
- ③2期4年ぶりに、役員の全面改選が行われました。支部長には山田和訓会員が就任されました。

(空知支部 谷 勲)



◎山田新執行部誕生

(敬称省略)

支部役員	平成29・30年度	前年度
支部長	山田 和訓	坂本 和繁
副支部長	亀山 泰幸	原 健之
幹 事	鳴海 敏郎	東海林直彰
幹 事	斎藤恵美子	竹田 俊一
監 事	東海林直彰	八幡 吉宣

道会委員(支部委員長)	平成29・30年度	前年度
総務	山田 和訓	坂本 和繁
システム	木村 聡	木村 聡
研修所	竹田 俊一	亀山 泰幸
企業防衛制度推進	坂本 和繁	谷 勲
リスクマネジメント制度推進	谷 勲	原 健之
巡回監査・事務所経営	八幡 吉宣	斎藤恵美子
書面添付推進	中浦 孝一	中浦 孝一
ニューメンバーズ・サービス	原 健之	原 健之
広 報	谷 勲	坂本 和繁
中小企業支援	鳴海 敏郎	鳴海 敏郎
共済制度等推進	大林 強	鳴海 敏郎

●●坂本和繁前支部長、2期4年間、お疲れさまでした。ありがとうございました。●●



第43回定期総会

去る7月29日(土)、町の寿司において第43回定期総会が開催されました。道会からは正副会長が会務で不在の中、遠藤成紀総務委員長が駆けつけてくださいました。また、(株)TKCからは肥田木知夏センター長代理、大同生命から内藤達哉本部長、中島佑課長、積水ハウス(株)からは花坂菜美さんが来賓として参列してくださいました。

今回は制定後約30年を経過した支部規約の見直しおよび支部会費の値上げと、これまで未整備であった慶弔規定および旅費規程の制定が主な議題となりました。議事は西正則支部長が議長となり、以下の件、いずれも異議なく承認され、無事終了しました。

- 第1号議案 支部規約改定の件
- 第2号議案 慶弔規定及び旅費規程の制定の件
- 第3号議案 平成28年度事業報告及び収支決算書承認の件
- 第4号議案 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件



第5号議案 任期満了による支部役員改選について

昨今、支部財政が厳しい状況が続いておりましたが、支部会費の値上げができたことで今後は支部活動の充実を図ることが可能となりました。

この後、懇親会となり、小樽のお寿司を堪能した後、小樽潮まつりの潮ねりこみ(踊り)にTKC北海道会小樽支部会員のほか、道会役員、その他有志会員や家族、関連会社からの協力をいただき、総勢25人で参加しました。祭りの前後は天候不順が続いておりましたが、当日は晴天!参加者全員汗だくになりながら「TKC北海道!」のかけ声と共に全員無事全行程を踊りきることができました。

踊りの後はワインバーに会場を変えてお約束の打ち上げ会を盛大に開催し、懇親を深めました。小樽支部会員提供のお肉、シャンパン、ワイン、トウモロコシ、スイカにメロンetc大いに堪能しました。





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, OBIHIRO, KUSHIRO, SORACHI, OTARU, ASAHIKAWA, HAKODATE



〈お詫び〉

昨年の総会報告で、TKC北海道会小樽支部としての潮ねりこみ参加は今回の参加を持って一応の一区切りとお知らせいたしましたが、根っからのお祭り好きが各方面からの参加要請を断ることもできず、結局今年も参加の運びとなりました。たぶん、来年も参加することになってしまいそうです。お祭り好きの方お待ちしています。(笑)

(小樽支部 西 正則)



第45回定期総会

8月7日(月)、旭川グランドホテルにおいて、TKC北海道会旭川支部第45回定期総会が開催されました。

定期総会の開催前に、「中小企業金融における会計と税理士の新たな役割」と題しまして、年度重要テーマ研修が行われました。研修会は、当支部西康子副支部長の司会で、TKC東京中央会の松坂聡会員に「中小企業を取り巻く環境変化」「会計で会社を強くする～実践編～」について、TKC北海道会田中裕之会長に「TKC全国会の運動方針と年度重要テーマ研修の位置づけ」についてご講義をいただき、当支部中小企業支援委員の薄井タカ子会員からは「TKC経営支援セミナー2017の開催要領について」、(株)TKCからは「会計事務所・関与先企業・金融機関をつなぐTKCシステム」について説明があり、会員先生・職員向けの研修会が終了いたしました。

研修会終了後、TKC北海道会旭川支部第45回定期総会が、支部会員42名中、出席会員26名委任状12枚で総会が成立し開催されました。総会議長に尾田利雄会員、議事録署名人に荒格夫会員が選任され、第1号議案「平成28年度事業報告並びに収支決算承認に関する件、監査報告」、第2号議案「平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件」が提案され、満場一致で承認されました。第3号議案「TKC北海道会旭川支部役員改選に伴う選任に関する件」につきましては、役員選考委員長佐竹美一会員から役員選考委員会の経過説明があり、新支部長に島田康弘会員が選任され



た報告があり、満場一致で承認されました。

総会終了後は、TKC北海道会田中裕之会長、講師を務めていただいたTKC東京中央会松坂聡会員をはじめ20名のご来賓をお迎えし、盛大に懇親会が開催されました。

島田新支部長をはじめ、新役員で旭川支部を盛り上げていく所存ですので、今後とも旭川支部をよろしくお願いいたします。

(旭川支部 舟橋 肇)



第45回定期総会を終えて

8月7日(月)、旭川グランドホテルにて旭川支部の定期総会が行われました。

今回は役員の改選期ということで、準備の段階から普段より憂鬱で、予想通り総会は普段の5倍は疲れました。というのもU前支部長が2年前から私を次期支部長に陥れるために、あちらこちらで次期支部長は確定しているようなことを吹聴しまくってきたからなのです。

私は色々な先生方に会うたびに「次、支部長なんでしょ?」と言われ続け、そしてその都度否定し続けてきたのですが、2年の間に徐々に外堀は埋められ、私自身もいつのまにかU前支部長他、副支部長F氏、N氏にも洗脳され、先日とうとう年貢の納め時を迎えるに至ったわけです。議案が通るまで、何かしらのサプライズが起きて“四国まで役員大会に行ったのに支部長を落とされた奴”という伝説を後世に伝えることを夢みていましたが、儚き夢となりました。

ところで総会は支部会員42名中26名に出席いただき、参加率61.9%となりました。今後も継続して支部例会等にご参加いただけるように工夫していきたいと考えておりますので、支部会員の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

そんな訳で支部長となってしまった私ですが、任されたからには、今後の旭川支部の活性化に向けて精一杯努力したいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

(旭川支部 島田 康弘)





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, OBIHIRO, KUSHIRO, SORACHI, OTARU, ASAHIKAWA, HAKODATE



平成29年度「後継者塾」を開催

TKC北海道会旭川支部では、平成20年から毎年開催しております、地域企業において将来経営者として経営を担うべき立場におられる後継者・後継候補者を対象とした「後継者塾」を、8月9日（水）から8月18日（金）までの間に全3回にわたって開催いたしました。

TKC出版発行の『会社を発展させる経営者になるために』をテキストに用いて、8月9日（水）の第1回目は、薄井タカ子会員が「後継者の心構え」「社長の仕事」について解説し、8月17日

（木）の第2回目は、島田康弘支部長が「会計で会社を強くする」の解説、8月18日（金）の第3回目は、私、舟橋が「これだけは知っておきたい会社の法務・税務」を解説し、全3回の「後継者塾」を終了し、塾生は卒業となりました。

今年の塾生は8名と、昨年より少ない人数となりましたが、講義中は真剣に向き合っていたいただき、講師としてもたいへん有意義な講義を進められたと思っております。

（旭川支部 舟橋 馨）



札幌西支部例会・研修会 報告

8月22日（火）に、TKC北海道会研修センターにおいて、札幌西支部例会・研修会が開催されました。山谷謙太支部長の体制となつてから、初めて開催される支部例会・研修会でした。

札幌西支部では、支部例会出席率の改善が課題とされていました。山谷支部長は、支部例会・研修会を変革することによって、この課題に対処しようとされています。具体的には、以下のような実施形式となりました。

まず、支部例会です。支部例会は、各会員が抱える「お困りごと」を吸い上げる形になりました。そこで、山谷支部長が、任意に会員を指名します。指名された会員は、自身が抱える「お困り

ごと」を発表します。特に「お困りごと」がない場合には、近況報告を行います。その発表者に対して、他の会員がアドバイスをを行います。以上のプロセスを繰り返す形式で、支部例会が実施されました。

実際に発表された「お困りごと」をまとめると、以下のようになります。

1. 繁忙期に入るまでの過ごし方
 2. 業務案件についての質問
 3. 顧問先への関与形態を変える方法
 4. 職員の採用方法
 5. 業務案件を紹介してくれた士業に対する処遇
- 新しい実施形式に、戸惑う会員も多かったようです。しかし、支部例会は、終始和やかな雰囲気





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, OBIHIRO, KUSHIRO, SORACHI, OTARU, ASAHIKAWA, HAKODATE



気で進められました。

次に、支部研修会です。支部研修会は、会員ひとりにスポットをあてた形になりました。支部長によると、スタンフォード大学で実施されているケーススタディが、ベースになっているようです。今回は、TKC北海道会田中裕之会長が、自らの事務所運営をケース（題材）として、発表されました。次に、参加者はグループに分かれて、ディスカッションを行い、意見をまとめました。最後に、グループごとに意見を発表し、参加者全員で討議を行いました。

具体的に、討議内容とされた問題点は、以下の2点です。

1. 税理士法人田中会計事務所の「強み」と「弱み」
2. 税理士法人田中会計事務所における、所属税理士の処遇

ケーススタディの題材が、田中会長の事務所運営ということで、やりにくさがあったようです。しかし、討議自体は、笑いも交えつつ活発に行

われていました。

参加者全員での討議を終えた後、田中会長からお話がありました。田中会長は、支部活動がすべての基礎となるため、まずは支部例会出席率を改善していきたい旨、述べられました。

今回の支部例会・研修会全体を通じて、私は、全員参加型であると感じました。発表や報告を一方向的に聞くスタイルでは、参加者が受け身になりがちです。今回の形式では、参加者は積極的に考え、発言することになります。受け身ではなく、積極的に行動する。事務所運営にも必要な姿勢だと思いました。

最後に、支部会員の学びのために、事務所運営について、包み隠さず赤裸々に発表して下さった田中会長に、深く感謝いたします。ありがとうございました。

（札幌西支部 中川 雄介）



第44回定期総会が開催されました 2年連続定期総会 全員出席!!

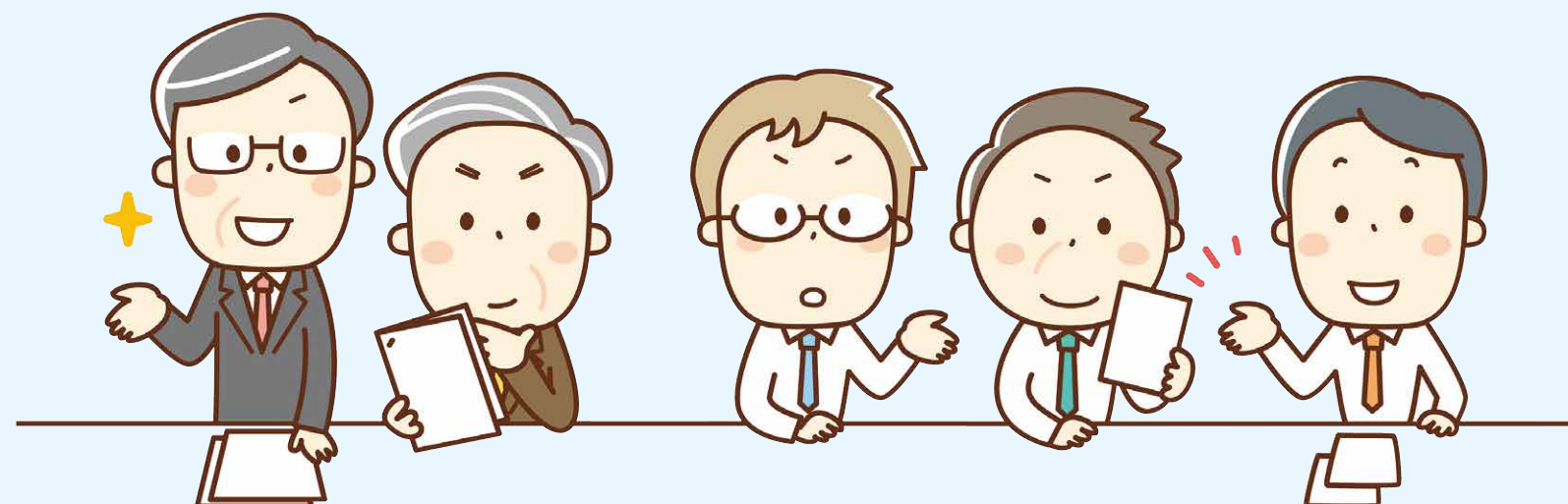
8月18日（金）午後5時よりフォーポイントバイシェラトン函館において、TKC北海道会田中裕之会長、岩本敏美副会長、またオブザーバーとして総会に先立って行われた年度重要テーマ研修講師の東京都心会の森脇仁子会員ご臨席のもと、函館支部の定期総会が開催されました。

昨年に引き続き会員全員参加の総会となり、総会の冒頭、細川拓厚支部長より、支部会員が

全員参加できたのは、各々が健康であるからこそその成果であり、みなさん健康に感謝しましょうと話があり、会員全員深くうなずいたところでした。

議案については滞りなく承認され、午後5時50分に閉会、つつがなく新年度を迎えることができました。

（函館支部 後関 慶子）





税理士 木村 聡 会員

空知支部

税理士法人TACS訪問

事務所継承までの経緯

木村会員は、もともとは映画に大変興味があり東京大学文学部へ進学しましたが、26歳の時に地元である岩見沢市に戻り父親の故・木村伸男会員の事務所に就職しました。その後、平成2年に税理士試験に合格し、平成19年に法人化したのち、事業を承継しました。

事業承継は様々な問題に直面しますが、木村会員がまだニューメンバーズ会員であったときに、加藤恵一郎前北海道会会長から事業承継の実体験を聞く機会があり、その際、個人事務所を法人化することを考えたそうです。個人事務所の承継は、職員に退社と入社の手続きをと

ってもらわなければいけないなど手続きが煩雑である一方、法人化することにより職員が安心して働くことができる環境を整えることができます。また、個人名のついた事務所名を税理士法人TACSにすることで、今後優秀な人材が承継者になれるよう考慮しました。

事務所の特長

木村会員は、「貢献」ということを常に目指しています。青年会議所に所属し街づくりに貢献するなど、自利利他の精神で地域活動に参加し積極的にコミュニケーションをとることで地域での信頼を獲得してきました。

関与先に対しても、グループ企業の株式会社



CBCを通じ、保険業務や人材派遣など、地方の中小企業にワンストップサービスを実現させ、より地域社会、中小企業の繁栄への貢献を目指しています。

プライベートでの活動

岩見沢市では毎年夏に、いわみざわ公園野外音楽堂キタオン周辺で「JOIN ALIVE ジョインアライブ」という音楽フェスティバルが開催されています。木村会員はNPO法人の役員として、コンサート運営会社と協力し、このような地域文化活動に参加することにより、公私両方において地域活動に参加し、貢献しています。

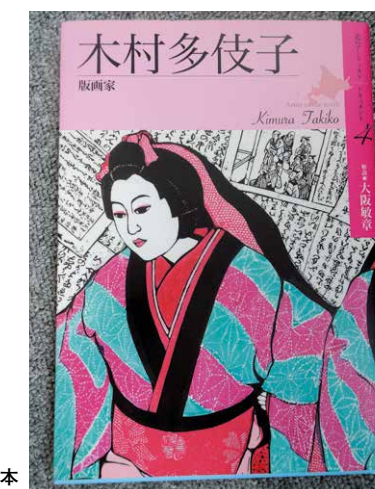
また、母である木村多伎子さんは90歳になった現在でも木版画家として活動しており、税理士である父と芸術家である母を持った木村会員は両方の側面を持ち合わせ、それを地域社会への貢献に活かしているように思いました。

TKC会員へ

「ぜひ広い視野を持って税理士の仕事を活かしてほしい。税理士の存在価値を常に自身に問

いかけ、時代の変化に対応して自分の役立つ場所を見つけ出して下さい」また、「企業防衛、リスクマネジメントの活動もよろしくお願いいたします」とおっしゃっていました。

(札幌西支部 河村 聡子)



木村多伎子さんの本



スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君

第6回 ゴボウが想定外で前例のない危険なカレーだ。



秋、中間決算の会社も多いでしょうが、会計業界はまだ落ち着いている時期。知識を身につける時期でもあり、研修等で北海道税理士会館に来る機会もあるでしょう。今回は、北海道税理士会館から一番近いお店「ソウルストア」を紹介します。

「どこのスープカレーが一番美味しいですか?」という質問には、ここを一番にオススメします!とにかく、野菜の料理が素晴らしい。素材が美味しいのは『当然』のこと、手間をかけ調理された野菜が、生花の様に美しく大胆に盛り付けられます!それを象徴するのが巨大なゴボウ、器をはみ出してドンッ!と構えます。ゴボウといえば、ささがきで固くて苦いイメージと思いますが、長く太くサクッと噛めて、想定外の美味しさにびっくりします。

スープは旨味が凝縮された万人向け。ちょっと

狭めの店内は、レトロでおしゃれな空気が充満。たまに、気まぐれな限定メニューもあります。季節の素材を手間をかけて美味しく調理したメニューは感動も覚えます。お店のtwitterをチェックして見つけたらラッキー!足を運ぶべきです。

例えば、「大地のザンギ」と名付けられた、大根の唐揚げ。ボリュームでしっかりした味、でもみずみずしくてさっぱり。極太アスパラ、フキ、王様しいたけなど季節のものが出ることあります。素材そのままが一番美味しいって?いえいえ、美味しい素材はより美味しい料理になるんです!

北海道税理士会館に来た際には「ソウルストア」にもお立ち寄りください。なお、主に月曜日がお休みです。

(札幌西支部 前嶋 章宏)



季節の旬菜カレー
辛さ:4番
トッピング:SOUL風よだれ鶏



チキンカレー
辛さ:3番
トッピング:大地のザンギ



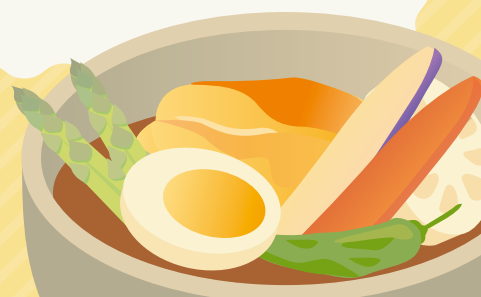
外観

今回のカレー

スープカレー SOUL STORE/西18丁目

<http://soulstore.web.fc2.com>

http://twitter.com/soul_store



eひと・eはなし

出発進行!



札幌西支部

中川 雄介

Yusuke Nakagawa

鉄道が好きである。いわゆる鉄男、鉄ちゃんである。

最近、多くの鉄子(女性の鉄道ファン)が出現してきている。そのせいか、鉄道は、男女問わず楽しむことのできる趣味として、市民権を得てきたような気がする。誠に嬉しい限りである。いい世の中になったものである。

一昔前は違った。鉄道ファンというと、男性の専売特許のような観があった。

男の子は、たいてい鉄道が好きである。ただ、その大半は、成長するにつれて、鉄道を卒業する。悲しい大人になってしまう。一方で、大人になっても少年の心を持ち続けている人たちがいる。鉄道を愛し続けている人たちがいる。鉄道ファンは純粋なのである。繊細で傷つきやすいのである。悪い人はいない(はずである)。

鉄道ファンには、いくつかの類型がある。専門分野といってもよい。代表的なものとしては、乗り鉄、撮り鉄、模型鉄、時刻表鉄、スジ鉄、駅弁鉄、収集鉄などである。最近、廃線跡専攻や秘境駅専攻、廃車専攻など、専門分野がさらに細分化してきているようである。

私は、もっぱら乗り鉄である。スマートフォンを手にしてからは、一般客の迷惑にならない範囲で車両を撮影するようになった。着信メロディも、山手線の駅メロディにしている。

私の乗り鉄としての歴史は古い。小学生の時には、旭川の親戚の家まで、札幌から各駅停車に乗っていった。特急に乗ってしまうと、あっという間に鉄道の旅が終わってしまうからである。結局、旭川まで3時間以上かかったが、幸福感でいっぱいであった。

今でも、出張の際には、できるだけ鉄道で移動する。出張前日には、ワクワクしてしまう。時刻表を入念に読み込んで、イメージトレーニングを行う。ダイヤグラムも調べて、乗車する列車のスピード感も把握しておく、完璧である。

そんな乗り鉄専門だった私が、最近、新分野を研究し始めた。呑み鉄である。

きっかけは、『六角精児の呑み鉄本線・日本旅』というテレビ番組である。俳優の六角精児が、ひたすら酒を飲みながら鉄道に乗って旅をするという番組である。壇蜜がセクシーな声で、語り役を務めている。

とても素敵な番組である。鉄道、酒、セクシーな女性。大好きなものばかりである。この番組に影響されて、私も遅ればせながら、呑み鉄デビューを果たした次第である。

呑み鉄には、特急はダメである。快速もイマイチである。各駅停車こそが好ましい。各駅停車に揺られながら、まずビールを空ける。車窓に海が広がったならば、ややアルコール強めの酎ハイに進みたい。ハイボールも悪くない。列車が森に入ったならば、かねて用意しておいたウイスキーの小瓶を取り出す。森とウイスキー、間違いのない組み合わせである。

そうこうしていると、列車の揺れ以上に、車窓が揺れてくる。イイ具合にアルコールがまわってきた証拠である。ここでは、自然の摂理に従い、ひと眠りしたい。レールのジョイント音を子守歌にしながらまどろむ。至福である。極みである。

しばしのまどろみの後、目覚めると日が傾いている。鉄道の旅も終盤である。序盤とは趣が変わってくる。過ぎ去りし日々思いをはせるようになる。妙にもの悲しくなってくる。

さあ、舞台は整った。満を持して、日本酒の登場である。ただ、小瓶の日本酒ではダメなのである。呑み鉄にふさわしいのは、やはりカップ酒である。列車の揺れに気を付けながら、慎重にカップ酒のフタを開ける。至高の瞬間である。少しこぼれてしまい、あわてて口をつける。想像するだけでめまいがする。

まだまだ研究中ではあるが、これが私の呑み鉄スタイルである。

最後に、重大な問題に触れたい。北海道の鉄道の行く末である。多くの路線が、JR単独では維持困難であるという現状。なんとか鉄路を残すことはできないものか。北海道の開拓は、鉄道と共にあった。守り抜いていきたいものである。



JR札幌駅にて



近鉄名古屋駅にて

せいきの業務日誌

札幌西支部

遠藤 成紀
Seiki Endo



すごい久しぶりの投稿です。「けんたの業務日誌」の前身で、「せいきの業務日誌」ってあったの覚えてます??知らないでしょうねえ……それ以来です。

さて、何を書こうかと色々考えても大したことは思い浮かばず、最近の私生活を明かそうと思います。4年ほど前からマラソンを始めておりまして、現在は年に2回程度のハーフマラソンと3回程度のフルマラソン大会に出場しております。当然普段から練習しないと完走はできないので、週に2回ほど10kmから20km程度豊平川河川敷から真駒内公園にかけて走っております。

時間はバラバラですが、最近は飲みにもほとんど出なくなったこともあり、仕事後夜に走るか朝早起きして走るのですが、朝走ると、日中極度の睡魔に襲われるので、なるべく夜か休日にと心掛けています。ただ、夜は夜で難点がありまして、特に夕暮れ時のランは大量の虫の空襲に遭い、目に特攻は食らうわ、ぶつかった虫が汗肌に固着するわ、髪の毛に入り込むわで、イマイチ気持ちよく走れません。

というのは言い訳で、ちょっとランに飽きてきている自分がおりまして、更なるレベルアップを求め、昨年から水泳に時間を費やす時間が多くなりました。そうです、来年にはトライアスロンの大会に出ようと決心し、もともと25m程度しか泳げ

なかった自分を大会用に1.5km泳げるようにと水泳教室に通い始めました。最初は半年位通えばある程度は…と思っていたのですが、一年以上通っているのに泳げるようになったのは500m程度。はい、どうやら相当センスが悪いようです。

最初の頃はビート板を持つところからスタートし、正しい姿勢を教わるのですが、なかなかビート板を卒業させてもらえず、「長距離泳ぎたいなら基本の姿勢が一番重要です、次のレッスンまでに自分で練習に来て、この姿勢を覚えないと次のステップには進めません!」とか言われて、何をー!と燃える心が湧き立つのはほんの一瞬。だって大の大人が一人でプール行ってビート板もってバタ足練習だけをひたすらするの?え、まじ??想像しただけで……かなり…照れる。

そんな変なプライドと臆病な心と闘いながらもチマチマと練習に励み続け一年、基本姿勢も身につき人並みに泳げるようにはなったかなと、先日小さい頃から水泳を習っていた夏休み中の娘を誘い、一緒にプールへ。

父「どうだ、パパの泳ぎ、なかなかのものだろ?」

娘「パパの泳ぎ方、お腹だけ沈んでてキモイよ。なんか型が変。遅いし。」

そんな…。挫けない心を持つ鍛錬。哀愁でいと。

帰ってきた

けんたの業務日誌

支部長編

第2回

札幌西支部 山谷 謙太



7月13日(木)・14日(金)と全国役員大会に参加して参りました。報告したい事項がふたつ。

その1 男 飯塚真玄の男気に応えなければ。

角一幸社長が(株)TKC報告を随分巻きで説明してるなと思っていたら、スケジュールには入ってなかった飯塚真玄名誉会長からの報告が始まりました。

来年創業者の飯塚毅初代会長が生誕100周年を迎えるにあたりの特設事業の内容でした。その内容は、書面添付を実施している会員へ、飯塚真玄名誉会長本人が持っているTKCの株式を無償譲渡するというものでした。発表への間、期待感が高まり、発表したときには、盛大な拍手が巻き起こるかと思っていたのですが、発表した瞬間、会場はなぜか静寂につまれておりました。

支部長という役割を拝命している私は、この心意気に応えなければと思いました。後日坂本孝司TKC全国会会長も言っていたが、(株)TKCの業績を鑑みれば、自計化推進というところなのだろうが、飯塚名誉会長は、「租税正義の実現」というTKC全国会の事業目的の遂行のために、「書面添付の実践」という条件にしてくれました。

この心意気に応えるために、みんなで書面添付を推進していきましょう!

その2 全国最下位脱出

支部長会議にて、前年の全国支部例会参加率が発表されました。前々年度は全国最下位でしたが、前年度は、133位(134支部中)。見事に最下位脱出しました。この上昇気流にのって、参加した会員が満足する例会研修会の開催に尽力します!!

〈追伸〉TKC北海道会顧問の春野守夫会員に挨拶に行ったところ、円山公園駅にある早川コーヒーをいただきました。その包装に春野会員の素敵な絵が描かれてましたのでご紹介まで。





第10回目の今回は、
センター長代理の
森さんです。



出身	札幌市西区発寒
出身校	日本福祉大学
血液型	A型
星座	牡牛座
愛読書	関ヶ原(著 司馬遼太郎)
趣味	北海道コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの応援
好きな食べ物	つけ麺、蕎麦
好きなお酒	黒霧島(芋焼酎)
好きな女性のタイプ	インドア派の女性
どんな人と言われる?	ムーミン

失敗談
8月9日(水)に札幌ドームで行われた北海道コンサドーレ札幌対横浜F・マリノス戦を観戦しました。ゴール裏での応援に熱が入りすぎて、友人の飲み物が足に当たってしまい、見事にぶちまけてしまいました。多くのサポーターに迷惑をかけてしまい、気まずい思いながら応援しておりました…。試合結果も負けてしまい、散々な一日でした。

会員へのメッセージ
センター長代理職を拝命して半年が経過しようとしております。まだまだ不慣れなことも多く、会員先生や職員様を支えなければならない立場にありながら、支えていただいているのが現状であり、いつも皆様に感謝しながら活動しております。私も札幌生まれであります。TKC北海道会を盛り上げるべく、会員増強を中心に更なる貢献をできればと思います。皆様のところへ訪問をした際には、未入会の先生をご紹介いただければ幸いです。今後も、何卒よろしくお願いいたします。

かな変換



(原作:札幌西支部 戸井正人 / 作画:札幌西支部 近藤勝美)

★急募 漫画家求む! 広報委員会

取り調べを終えて

今回はセンター長代理の森さんに登壇いただきました!本当はもうちょっと根掘り葉掘り聞きたいことがあったのですが、今回は、急遽、取材をお願いしたにも関わらず素早い対応をもらったことに感謝です。ご出演ありがとうございました!(みやした)

ps. 漫画家になりたい人&取調べられたいSCGさん募集中です。

新入会員の紹介 NEW MEMBER

はしもと やすひろ
橋本 靖弘(札幌西)

平成29年3月23日入会
昭和22年4月4日生まれ

事務所住所

〒064-0822
札幌市中央区北2条西27丁目2番28号札幌丸ビル
橋本靖弘税理士事務所
電話(011)641-3125 FAX(011)641-3126

プロフィール

- 出身地/函館市
- 前職/国税職員
- 趣味特技/読書と下手なゴルフ
- 夢・ひとこと/健康で90歳まで生きて、ゴルフのエイジシュートを実現させたいものです。



いわた きよし
岩田 圭史(札幌東)

平成29年6月23日入会
昭和53年5月14日生まれ

事務所住所

〒062-0001
札幌市豊平区美園1条5丁目3-20
岩田税理士・社労士事務所
電話(090)9876-9004

プロフィール

- 出身地/釧路市
- 前職/北海道労働局、道内ハローワーク、砂野隆英税理士事務所
- 趣味特技/スキー、キャンプ、走ること
- 夢・ひとこと/仕事と趣味と子育てと、バランスがとれた活動を目指しています。よろしくお願いいたします。



編集後記 editor's note

- ◆ 無事に編集責任者になって2回目の『かいほう』がなんとか発行ができました。まずはよかった!
- ◆ ただし、実は先日、北海道会事務局のパソコンが壊れてしまうという事態が発生し、記事に使う予定だった写真がなくなっていました。『かいほう』が文章だらけになってしまう危機を迎えていました。焦りました。今回、パソコンのバックアップをこまめにとることが大事であることと、人任せにせず自分でも写真を撮らなきゃダメだということを学ばせてもらいました。今後の教訓したいと思います。
- ◆ そして、迅速に保管してあった写真の提供をいただいた株式会社TKCの皆様、どうもありがとうございました。

(宮下)



活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

平成29年9月			平成29年10月			平成29年11月		
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	金	帯広支部総会	1	日		1	水	巡回監査士試験
2	土		2	月		2	木	巡回監査レベルアップ講座2017
3	日		3	火	“シン”書面添付フォーラム2017	3	金	文化の日
4	月		4	水		4	土	
5	火	租税判例研究会	5	木	巡回監査士<補>研修	5	日	
6	水	正副会長会 年度重要テーマ研修(札幌)/企業防衛正副委員長会議	6	金	巡回監査士<補>研修 企業防衛マスターズ会	6	月	租税判例研究会
7	木	巡回監査士<補>研修	7	土	企業防衛マスターズ会ゴルフ	7	火	北海道銀行との交流会
8	金	巡回監査士<補>研修 資産活用委員会大和部会推進会議、特別研修会	8	日		8	水	巡回監査士補試験
9	土		9	月	体育の日	9	木	広報委員会
10	日		10	火	会員研修(札幌)	10	金	
11	月	苫小牧支部総会	11	水		11	土	
12	火	巡回監査レベルアップ講座2017	12	木	資産対策研究会	12	日	
13	水		13	金	巡回監査レベルアップ講座2017	13	月	北洋銀行との連携強化セミナー
14	木	札幌西支部総会/定期総会/定期大会 各委員会/委員会合同夕食会	14	土		14	火	
15	金	札幌東支部総会 秋季大学(京王プラザホテル札幌)	15	日		15	水	
16	土	秋季大学親睦ゴルフ	16	月	会員研修(帯広) 原点の会	16	木	NMフォーラム2017in大阪
17	日		17	火	原点の会	17	金	NMフォーラム2017in大阪
18	月	敬老の日	18	水		18	土	
19	火	NMフォローセミナー	19	木	巡回監査士<補>研修	19	日	
20	水		20	金	タックスフォーラム2017 巡回監査士<補>研修/広報編集会議	20	月	正副会長会 顧問・相談役・参与会
21	木		21	土		21	火	
22	金		22	日		22	水	
23	土	秋分の日	23	月	正副会長会	23	木	勤労感謝の日
24	日		24	火	NMフォローセミナー	24	金	理事会
25	月		25	水	札幌東支部例会	25	土	
26	火		26	木		26	日	
27	水		27	金	理事会	27	月	
28	木		28	土		28	火	
29	金		29	日		29	水	
30	土		30	月		30	木	
			31	火				

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

かいほう

2017.9.26
第220号



TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル4階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622

発行責任者/田中 裕之 編集責任者/宮下 直樹 印刷所/株式会社メディアブラネット



Chance, Change and Challenge

TKC HOKKAIDO



函館支部 2年連続定期総会全員出席

CONTENTS

- 「税理士業界の未来を考える」の研修を受けて… 02
- 「税理士業界の未来を考える」のお話を聞いて… 03
- 今年も「増田節」全開です！… 04
- 未来を拓く。終わりのなき求道者たれ TKC会計士！… 04
- 第147回TKC全国会システム委員会報告… 06
- 第44回全国役員大会における全国支部長会議に参加して… 07
- 年度重要テーマ研修を受講して… 08
- 【事務所見学会】税理士法人AQUA… 09
- 「新規自計化GO!GO!GO!大作戦」表彰旅行… 10
- 未入会向け会計事務所セミナーin札幌… 11
- 会計事務所 経営戦略セミナー… 13
- リスクマネジメント研修会&情報交換会を開催… 13
- TKCモニタリング情報サービス… 15
- 平成29年書面添付実践件数… 16
- 支部例会・研修会だより… 18
- 会員訪問… 30
- スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君… 32
- リレーエッセイ「時・空・人」… 34
- 帰ってきた けんたの業務日誌… 35
- 委員長みやしたの取調室… 36
- 新入会員の紹介… 37
- 編集後記… 37
- eひと・eはなし…
- 札幌西支部/中川 雄介… 33